

信毎 MEDIA GARDEN x 串田和美 串田企画 第15弾！

朗読と音楽

串田孫一

山のパンセ
日記



2021
11月27日(土)16:00

11月28日(日)11:00

信毎メディアガーデン
1階ホール

冬のアルプスを眺めながら
音楽を楽しみ 孫一の残した
思索のことばに心を寄せる
七十八年の時を経て、息子・和美が
若き日の父の日記を朗読する
そこには戦中戦後の苦悩や
創作、思考とともに、
家族との何気ない、かけがえのない
時間が紡がれていた

かうまうは今
あや秋の
あや春の
あやにほひ
こかね色

朗読と音楽
串田孫一
山のパンセ 日記

●日時
2021年
11月27日(土) 16:00 開演
11月28日(日) 11:00 開演

開場は開演 30 分前 途中休憩あり

●会場
信毎メディアガーデン
1階ホール

長野県松本市中央 2- 20-2

●料金 (全席自由・税込)
3,500 円 (当日 4,000 円)

3歳以上有料。2歳以下は大人1名につき1名まで膝上無料。
但しお席が必要な場合は有料。

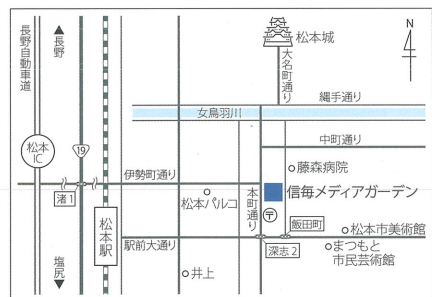
●プレイガイド
[窓口/前売・当日]
信毎メディアガーデン1階まちなか情報局 (9:00 ~ 18:30)
[Web/前売のみ]
信毎メディアガーデンWebショップ
(11/21までチケット郵送、以降は窓口にてお取り扱い)

●＜安心してご参加いただくために＞
新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため下記対策へのご協力をお願いいたします。
★発熱・せきなどかぜのような症状がある場合はご来場をご遠慮ください
★ご入場の際はマスクを着用いただき、せきエチケットをお守りください
★会場入口に消毒液を設置いたします。手指の消毒にご協力ください

●主催：信濃毎日新聞社

●お問い合わせ

信濃毎日新聞松本本社まちなか情報局
Tel.0263-32-1150 (平日 9:00 ~ 17:00)



□松本駅から徒歩約8分 □松本から車で約15分
当施設に専用駐車場のご用意はありません。公共交通機関や周辺有料駐車場をご利用ください。近隣商業施設等への無断駐車は他のお客様のご迷惑になりますのでご遠慮ください。皆様のご協力をお願いいたします。

串田孫一 (くしだ まごいち)

1915年生まれ。詩人、哲学者、随想家。東京帝国大学哲学科を卒業。

1958年、山の文芸誌「アルプ」創刊。代表作に「山のパンセ」「若き日の山」など。

山に登り、自然の中に身を置くことで自らと対話した。

絵画、版画、篆刻もよくし、400冊近い著書のうち自身で装幀を手掛けたものも多い。

音楽への造詣も深く、レコード解説や選曲、ブロックフレーテやアイリッシュ・ハープを演奏。

自作のFMラジオ番組「音楽の絵本」のパーソナリティを約30年間続けた。

小学校2年生の時から毎日かかさずに日記をつけており、

山歩きよろこびを初めて知ったのは中学1年生の冬。翌年の春を待って、

烏帽子岳、穂高連峰から上高地へと縦走した。



詳細は
信毎メディアガーデン
ホームページで
ご確認ください。

- 企画・構成：
串田和美
- コーディネート：
串田明緒
- 文字：
串田孫一



演奏

MUSIC for
ISOLATION

東京を拠点に活動する竹内理恵 (バリトンサクソ) と
ギデオン・ジュークス (チューバ) のインストゥルメンタル・
デュオ。フォーク、クラシック、ジャズ、古楽の交差点にあり、
隔離生活の中で聴き手に寄り添う音楽を追求する。これまでに
リリースされた2枚のアルバムは国内外の聴衆・批評家から好評
を博し、様々なメディアに取り上げられる。今冬、古代クリスマス
や新年の伝統を掘り下げた暗く神秘的なニューアルバム
「On Christmas Day It Happened So」を発表予定。



朗読

串田和美
くしだかずよし

俳優、演出家、舞台美術家。
まつもと市民芸術館芸術監督。「松本ならでは」の事業を次々と実現。信毎メディアガーデンの企画プロデューサーとして年数回の多種多様な「串田企画」を開催する。著書に「幕があがる」「串田劇場 (くしだじょう)」など。串田孫一の長男であり、若き日の山男。



朗読

小林聡美
こばやしさとみ

1982年に大林宣彦監督映画「転校生」で
初主演。主な出演にドラマ「やっぱり猫が好き」、
映画「かもめ食堂」「プール」「紙の月」、
串田和美演出舞台「24番地の桜の園」。
2021年の最新エッセー集に「わたしの、本の
ある日々」。2016年より信毎の書評委員を
二年間務めた。